

会告

- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- 「アルミニウム合金の超音波接合部形成に関わる界面現象」ミニ研究会 会員募集
- 国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の応募について
- 一般社団法人溶接学会 年会費改定について
- 平成 28 年度春季全国大会「研究発表」講演募集
- 溶接学会全国大会講演分類
- 全国大会講演概要原稿執筆要領
- Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting
- 全国大会講演プログラム校正について
- 全国大会における液晶プロジェクターの利用について
- 平成 28 年度春季全国大会フォーラム講演募集
- WEB 掲載の溶接学会論文集 33 巻 (平成 27 年度) の印刷物の購入について
- 平成 27 年度秋季全国大会講演概要の頒布について
- 国立大学法人 岩手大学理工学部 教員公募

● 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、7月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作(約 5~10 分)をお願いいたします。

- ① ログイン → ② 会員情報確認・変更 → ③ パスワード変更 → ④ マイページ内の完了ボタン (会員情報等変更の有無にかかわらず必ず押してください)

必ず押してください)

なお、マイページの URL は、member.jweld.jp/mypage ですが、溶接学会 HP からログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。

また、E-mail アドレスは、重要な連絡や ID 等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用の PC 用 E-mail アドレスを必ずマイページにご登録ください。

(マイページに登録された E-mail アドレスが正しいかご確認ください)

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

● 「アルミニウム合金の超音波接合部形成に関わる界面現象」ミニ研究会 会員募集

1. 趣旨

金属材料の超音波接合は、固相接合技術の 1 つとして知られており、健全な接合部を形成するための重要な基礎物理・化学現象が多く報告されております。これまでの超音波接合に関する研究では、健全な接合部形成に関わる基礎現象を接合機の出力より算出した接合エネルギーで整理している報告がほとんどでありました。しかしながら、接合エネルギーは装置の仕様、形状、剛性等に強く影響を受けるため、与えた接合エネルギーが同じであっても使用する装置が異なれば、接合部形成に利用されるエネルギーは著しく異なる可能性があると考えられます。そのため、様々な接合因子に基づいて、超音波接合の界面現象を見つめなおし、普遍的な接合メカニズムを提案し、与えたエネルギーを効率的に接合部形成に伝達できるようにすることが、今後の幅広い工業展開への重要な鍵となると考えられます。本研究会では、超音波接合において接合に関わる基礎現象の理解の深化を図り、高効率で安定した接合を実現するための指針を得ることを目的としております。

2. 内容

本研究会では、比較的容易に健全な接合部が得られるアルミニウム合金を用いて、超音波接合部における界面現象を、様々な分野の技術者・研究者の視点から検討し、マイクロ組織形成機構や特性発現機構を明らかにすることを目指します。各参加者による実験結果が揃った後は、これまでの研究成果や知見等と比較しながら

データの議論を行なう討論会を開催します。得られた成果に基づき、与えた接合エネルギーを効率的に接合部形成に利用するための鍵となる界面現象や接合条件等を議論し、次世代ものづくりの基盤技術としての超音波接合の可能性を模索します。

3. 研究期間

平成 27 年 6 月～平成 28 年 5 月

4. 組織

主査：藤井啓道 (東北大学 大学院工学研究科)

委員：前田将克 (日本大学)、小椋智 (大阪大学)、

佐々木朋裕 (新潟大学)、濱田賢祐 (超音波工業)、

齋藤慎哉 (ケーヒン)

5. 参加資格

・超音波接合に関する実験および討論会に積極的にご参加いただける方。

・次世代を担う若手研究者・技術者を育成するため、原則として 40 歳未満の若手研究者・技術者 (産官学) が対象

6. 問合せ・申込先

氏名、所属、部署、職名、連絡先 (住所、TEL、e-mail)、専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。

藤井 啓道

(東北大学 大学院工学研究科 材料システム工学専攻 助教)

e-mail: fujii@material.tohoku.ac.jp

国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の応募について

IIW では、大学院生あるいは同年代の若い研究者による論文(単独著)を対象としたグランジョン賞を制定し、募集しております。

この賞は、IIW 科学技術幹事 H.Granjon 氏(仏)を記念したもので、若手研究者の溶接研究への関心を高めることを目的としています。

受賞候補論文は下記の要領により、1 国から 3 分野 3 論文(1 分野 1 論文)まで応募できます。

奮ってご応募ください。

申込要領：

次の事項を記載し、全論文(和英何れでも可)を付して、メールにて期日までにお申し込みください。

- (1) 著者名及び年齢
- (2) 学位(学士、修士、博士など)

(3) 論文を著作した時期及び職名

国内申込先及び締め切り日：2015 年 10 月 9 日

申込先(連絡先)：日本溶接会議 (JIW) 石丸賢二

email: ishimaru@tg.rim.or.jp

TEL: 03-5825-4073

国内審査：

応募いただきました論文を国内審査し、11 月初旬までに IIW 本部宛、JIW 事務局より申し込みます。なお、国際溶接学会(IIW)での発表実績を重視して審査します。審査に合格した論文は著者にて英文に翻訳(10 ページ程度、10 月 31 日までに)していただきますので、あらかじめご用意くださいますようお願いいたします。

授賞式は、2016 年オーストラリア大会になります。

一般社団法人溶接学会 年会費改定について

一般社団法人溶接学会会員種別及び入退会等規程第 9 条別表年会費を下表のとおり改定することになりました。

(平成 26 年 4 月 23 日通常総会にて議決)

会員種別	現 行		改 定	
	年会費	入会金	年会費	入会金
正 員	12,000 円 (終身会員は免除)	1,000 円	13,000 円 (終身会員は免除)	1,000 円
賛助員	1 口 40,000 円 (口数制限なし)	なし	1 口 42,000 円 (口数制限なし)	なし
学生員	6,000 円	1,000 円	6,000 円	1,000 円

※年会費改定の実施は、平成 27 年度年会費納付分からとします。

【改定理由】

消費税の課税率が、平成 26 年 4 月から 5%→8%に引き上げられ、平成 27 年 10 月からは 8%→10%に引き上げられる見通しです。それに伴う経常費用の増加ならびに収支の悪化に対応するため、正員および賛助員の年会費を改定致したいと思えます。今後とも学会活動の活性化、若手研究者・技術者の育成強化、会員サービスの向上に努めて参りますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

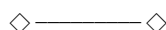
平成28年度春季全国大会「研究発表」講演募集

平成28年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますので、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなります。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正、フォーラム論文募集、液晶プロジェクターの利用について等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

また、原稿締切から概要発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら講演をお断りすることになりますのであらかじめご了承ください。



開催期日：平成28年4月12日（火）、13日（水）、14日（木）
開催場所：アジア太平洋トレードセンター（ATCホール）
（大阪市住之江区）

—講演申込募集—

1. 申込期間：平成27年11月10日（火）12:00～
平成27年12月1日（火）14:00
2. 講演資格：講演者は正員（学生員も認める）でなければなりません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして、画面上からお申込み下さい。また、下記講演登録料をご納入ください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。
◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。送金は銀行振込でお願いいたします（振込口座は申込受付時にメール送信いたします）。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

※大会参加費は下記料金を大会当日、現金にてお支払い下さい。

（円）

会 員 区 分		講演登録料	大会参加費 (講演概要の閲覧・取得を含む)
個人会員	正 員	8,000円（税込）	10,000円（不課税）
	学生員		5,000円（不課税）
賛 助 員		発表不可	10,000円（不課税）
非 会 員	学生以外	発表不可	20,000円（税 込）
	学 生		10,000円（税 込）

4. 原稿（PDF）提出期間：

平成28年1月12日（火）12:00～2月2日（火）14:00

5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。
6. 発表時間：講演10分、討論5分
7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。
8. 講演申込の取り消しについて
講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

（注意事項）

- ①講演概要のデジタル化に伴い全ての一般講演は、大会1ヶ月前にWEB公開されます。また、大会終了の2ヶ月後にJ-Stageで公開されます。講演概要への非掲載やJ-Stageでの非公開を希望する講演はいっさい受付いたしません。
- ②上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システムの利用は不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。
- ③原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。
PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。
また、原稿提出期間後の原稿差し換えはいっさい受付いたしませんので、提出前にあらかじめ確認してください。
- ④PDF原稿提出時に申込時の受付番号とパスワードが必要になりますので忘れずに保管してください。

溶接学会全国大会講演分類

分類記号 ・番号	内 容	備 考	分類記号 ・番号	内 容	備 考	
I	溶接プロセス (含機器)		7 8 9 10 11	新材料接合部の諸特性 セラミックス 複合材料 機能材料 高分子材料 その他：新素材開発		
	1 溶融溶接 (1)：アーク溶接，ガス溶接					
	2 溶融溶接 (2)：高エネルギービーム溶接					
	3 溶接技術の新しい展開					
	4 新溶接技術					
	5 新熱源開発，応用					
II	6 加工技術			1 2 3 4 5 6 7 8 9	溶接・接合部の強度・破壊と設計 溶接・接合部の応力 溶接・接合部の静的強度 破壊靱性，き裂 (発生，進展) 疲労強度，疲労き裂 環境強度，クリープ 溶接・接合設計 (強度計算など) 信頼性，安全性評価 劣化診断，寿命予測 その他	
	7 その他					
	制御・システム工学，溶接・接合技術の 各産業分野への展開					
	1 センサー，モニタ，計測技術					
	2 インプロセス制御技術，品質制御技術					
	3 ロボット工学・技術					
	4 自動化，システム化技術					
	5 CAD, CAM, FA					
	6 製品開発					
	7 生産，製造，施工，組立など					
	8 その他：新技術，新システムなど					
	III	品質保証，施工管理		1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13	圧接，ろう接プロセス 圧接 (1)：抵抗溶接 圧接 (2)：摩擦，超音波，爆接 固相接合，拡散接合 接着，ウエルドボンド ろう接：ろう付，はんだ付 マイクロ接合 機械的接合：リベット，ボルト継手など その他：新接合技術 表面改質及び熱加工プロセス (含機器) 成膜 (1)：肉盛，溶射，めっき 成膜 (2)：PVD, CVD, イオンミキシング 成形：焼結，HIP，鋳ぐるみなど 切断，ガウジング，穴あけ加工など その他：焼き入れ，グレージング，封孔処 理，新加工技術など	
9 品質保証，工程設計など						
10 安全・衛生，教育，訓練						
11 非破壊検査，同機器						
12 その他：生産設備など						
金属材料の溶接・接合部，表面改質部の特性 (含鋼材，溶接材料など)						
1 溶接・接合部，表面改質部の物理化学						
2 溶接・接合部，表面改質部の組織及び機械的 性質						
3 耐食性，耐環境性						
4 低温割れ，高温割れ，応力腐食割れなど						
5 気孔，スラグ巻き込みなどの欠陥						
6 その他						

全国大会講演概要原稿執筆要領 — PDF原稿のみとなります。 —

概要原稿 (テンプレート) が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのまま WEB 公開しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会所定 (又は、指定フォーマット) のものに限りま。

1 ページ目は、題目、勤務先 (研究場所)、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワード、本文などの記入用の用紙 (A) を使用してください。

2. 原稿の長さ

題目 (和英両文)、勤務先、著者名 (和英両文)、キーワード (和英両文) 本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙 2 枚 (A, B) にできるだけ余白を残さずに書いてください。

字数は、40 字×37 行×2 枚=2,960 字 (タイトル等に約 360 字、本文は約 2,600 字) です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙 (A) の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

(副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないよ

うに記載して下さい)

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように 3~5 ワード書いて下さい。

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労

Keywords: arc, plasma, physics

ロ. 本文

原稿用紙 (A) 12 行目から (B) いっぱい原稿用紙のコマに合わせて黒色で書いてください。また、用紙の枠いっぱいにはコマ数 (40 字×37 行) だけ打ってください。(全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません)

文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意ください。

八. 図表及び写真

図表及び写真は、関連する本文の近い場所に貼付してください。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意ください。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明 (Caption) は英文で書いてください。(写真は Photo でなく Fig. としてください)

4. 校正

校正は (著者、編集者とも) いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内に PDF (原稿) を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

[原稿見本]

プラズマ溶接の研究

日本工科大学 ○秋山 冬彦
世界電機 夏川 春樹

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワード：アーク，凝固，割れ，疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文 (12行目から) →
本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……

↑
1～2 字アケル

Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and published as "Preprint of the National Meeting of JWS".

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A.

Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3~5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR
OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE
PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering
Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major fact

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.


全国大会講演プログラム校正について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

全国大会運営委員会

ホームページ上で大会プログラムの校正刷りを公開しますので、ご確認のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの版下が完成後、講演者宛に E メールにてご通知いたします。(校正刷りの郵送はいたしません。)万一事故等により E メールが未着の場合にも、3月下旬には開示いたしますのでご利用ください。

また、正式プログラム公開後の修正はいたしませんのでご留意ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン 4.0 以上(ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応)

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produks/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダー バージョン 3.0 の方は 4.0 にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>


4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛 FAX (03-5825-4331) にて送信ください。E メールでの送信はご遠慮ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版株式会社 クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp


全国大会における液晶プロジェクターの利用について

全国大会運営委員会

全国大会において、液晶プロジェクターの利用を希望される方は、下記の事項を遵守ください。

なお、パソコンは、発表者が各自ご持参ください。

記

全国大会運営委員会で準備する機器

- 1) 液晶プロジェクタ

発表者の準備するもの

- 1) パソコン
- 2) パワーポイントで作成した発表用のファイル

※休憩時間の間にパソコンの動作確認をしてください。
※講演中の操作は講演者側でお願いします。

平成28年度春季全国大会フォーラム講演募集

主 題：溶接残留応力と疲労強度

座 長：大沢直樹（大阪大学）

趣 旨：

引張り溶接残留応力が溶接継手の疲労強度を低下させることはよく知られている。この対策として、ピーニング等の機械的手法または低変態温度溶接材料等による冶金学的手法により溶接部に圧縮残留応力を導入する疲労強度改善手法が多数開発されている。これらの手法のさらなる高度化と普及のためには、圧縮残留応力導入プロセスで生じる物理現象と施工後の残留応力変化のメカニズムを解明し、疲労強度改善効果の影響因子と荷重履歴影響を明らかにする必要がある。そのような研究では、残留応力分布の精密測定と、処理プロセス・残留応力緩和過程の数値シミュレーション技術が重要になる。また、実構造物の設計で改善効果を適切に評価するためには、荷重履歴や環境影響による圧縮残留応力の変化を考慮した合理的疲労設計手法の確立も必要になる。

本フォーラムでは、溶接残留応力の計測・数値シミュレーション技術、圧縮残留応力導入過程のマルチフィジクスシミュレーション、荷重履歴による残留応力緩和の数値シミュレーション、圧縮残留応力導入処理を考慮した疲労設計法をテーマに取り上げ、我が国の疲労強度改善技術研究の最前線を認識するとともに、革

新的な次世代疲労強度改善技術を拓くための課題とその展望について討議する。

記

予定討議内容：

1. 疲労強度評価のための溶接残留応力計測・シミュレーション技術の現状と展望
2. 機械的手法による圧縮残留応力導入技術の現状と展望
3. 冶金的手法による圧縮残留応力導入技術の現状と展望
4. 残留応力を考慮した疲労設計法の現状と展望
5. 総合討論

日 時：平成 28 年 4 月 13 日（水）（大会 2 日目）
13：00～17：00（予定）

会 場：アジア太平洋トレードセンター（ATC ホール）
（大阪市住之江区）

申込方法：著者名、タイトル、概要（200 字程度）、所属、連絡先を明記し、Fax（03-5825-4331）にて、溶接学会事務局へお申し込みください。

申込締切日：平成 27 年 10 月 23 日（金）

講演採否：直接申込者に連絡いたします。

講演論文原稿送付締切日：平成 28 年 1 月 27 日（水）

WEB掲載の溶接学会論文集33巻(平成27年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成 19 年 1 月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にて WEB 版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成 27 年 11 月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

なお、Special issue of Visual-JW2014 の論文は含みません。

溶接学会論文集 33 巻（平成 27 年度）

価 格：溶接学会会員特価 7,500 円／年 1 冊（外税）

送 料：500 円（外税）

発行時期：平成 28 年 1 月下旬頃

送 付 先：学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前（会員名）」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAX にてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成 27 年 11 月 30 日

入金締切：平成 27 年 12 月 31 日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社（TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815）へ直接ご注文下さい。

定価 15,500 円／冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成 28 年 3 月 31 日

平成27年度秋季全国大会講演概要の頒布について

平成 27 年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成 27 年度秋季全国大会講演概要

価 格：12,000 円（税・送料込）

発送時期：平成 27 年 11 月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAX にてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。


一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成 27 年 9 月 14 日（月）

入金締切：平成 27 年 10 月 14 日（水）

なお、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。


国立大学法人 岩手大学理工学部 教員公募

- | | |
|--|--|
| <p>1. 職名及び人員：教授1名</p> <p>2. 所属学科等名：
物理・材料理工学科（理工学部）
（理工学部物理・材料理工学科は、平成28年度の全学改組により設置予定の学科です。当該学部改組における文部科学省の認可結果等が当該公募の採用条件等に影響することはありません。）
金型・鋳造工学専攻（博士前期課程）
フロンティア物質機能工学専攻（博士後期課程）</p> <p>3. 専門分野：
材料加工学（鋳造工学、接合工学等の材料加工プロセス分野）
担当授業科目
（学部）：基礎ゼミナール、金属構造材料学、接合工学、専門英語セミナーなど
（大学院）：計測・分析技術特論、鋳型造型技術実習、鋳物製造評価実習、検査分析実習など</p> <p>4. 応募資格：
（1）博士の学位を有する者
（2）国籍は問わないが、日本語で教育と大学運営に対応できる者
（3）地方大学の現状を理解して教育・研究および大学運営に対応できる者
岩手大学は男女共同参画を推進しています（http://www.iwate-u.ac.jp/gender/）。男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、教育、研究、地域貢献等の業績および人物の評価において、同等と認められる場合には女性を優先します。</p> | <p>5. 採用予定日：平成28年4月1日以降</p> <p>6. 任期：なし</p> <p>7. 提出書類：
（1）履歴書（写真貼付、所属学会、e-mailアドレス記載）
（2）研究業績リスト（著書、学術論文、国際会議論文、講演発表論文、特許、報告などに分類して記載）
（3）主要な学術論文別刷（5編以内、コピー可）
（4）科学研究費等外部資金取得と受賞歴状況の一覧
（5）研究業績の概要（A4用紙2枚程度）
（6）着任後の教育と研究に対する抱負（A4用紙2枚程度）
（7）応募者について問い合わせ可能な方2名の氏名、所属、連絡先</p> <p>8. 応募締切日：平成27年10月30日（金）必着</p> <p>9. 応募書類の提出先：
〒020-8551 盛岡市上田4-3-5 国立大学法人 岩手大学工学部マテリアル工学科 学科長 鎌田康寛
※封筒の表に「物理・材料理工学科教員応募書類在中」と朱書きし、簡易書留で送付して下さい。
なお、ご提出いただいた書類は返却致しませんので、予めご了承ください。</p> <p>10. その他：必要な場合に面接を実施する。</p> <p>11. 問い合わせ先：
〒020-8551 盛岡市上田4-3-5 国立大学法人 岩手大学工学部マテリアル工学科 平塚貞人
Tel. 019-621-6319, E-mail: hiratsuka@iwate-u.ac.jp</p> |
|--|--|